PROLOGUE
カドゥケウス機関とは

── 時に 2018 年。人類の歴史に新たな影が落ちる。
発生地、原因、有効な治療方法のすべてが不明な、
死に至る奇病【ギルス〈guilth〉】の出現である。

その最凶最悪の脅威に立ち向かうのが、医療の裏の歴史を支え、
あらゆる病の撲滅を目的とする世界組織【カドゥケウス】である。

一般社会には、難病の研究をする機関として認知されている
特定医療研究団体【カドゥケウス】。
しかし、その実態は「医療テロ」や「人類の脅威となる劇症型の伝染病」と
闘うために結成された特務機関であった。

忍び寄る医療テロの足音。奇病【ギルス】の脅威。

人類の未来は、特務機関【カドゥケウス】、そして
若き外科医【月森孝介】の手に委ねられることとなる。

MAIN CHARACTER
ふたりの主人公

月森孝介 KOUSUKE TSUKIMORI
本作の主人公。北崎病院に勤める26歳の外科医。父親を病院で失ったのがきっかけで医師を目指す。研修医から上がったばかりだが、恐るべき素質を秘めており、医師としての使命にも燃えている。

ミラ・キミシマ MILLA KIMISHIMA
もうひとりの主人公で日系3世の27歳。若くしてアメリカ医学会の注目を浴びた優秀な外科医だが、現在は交換医師として来日し、聖トビト病院に勤務中。彼女も月森同様、特別な能力を持っている。

SUB CHARACTER
主人公を取り巻く人々

利根川アンジュ ANGE TONEGAWA
北崎病院の新看護師で、ドイツ人の血を引く21歳のクォーター。研究者の家系に生まれ、WNLS(国際看護資格)を持つ。卓越した知識で月森をサポートする。

沓掛真一 SHINICHI KUTSUKAKE
北崎病院の外科医局長。手術室では冷静沈着をモットーとする、医局を取り仕切るリーダー的存在。月森をきびしく叱咤し、彼に医師としての使命を伝える。

北崎威一郎 IICHIROU KITAZAKI
北崎病院の院長。62歳。かつては医神と呼ばれ、多くの難手術を成功させた日本を代表する外科医であったが、現在はもっぱら管理事務の仕事にあたっている。

沓掛宗二 SOUJI KUTSUKAKE
日本カドゥケウス局長。35歳。伴侶を病で失ったのをきっかけに、医療研究に人生を捧げている臨床学の権威。月森の指導医、沓掛真一の双子の弟でもある。

●その他のキャラクター

古村百恵 MOMOE FURUMURA
39歳のベテラン手術助手。面倒見がよく、皆に慕われている。北崎病院の母親的存在。

日比谷克己 KATSUMI HIBIYA
官僚として医療行政に携わっていた現厚生労働大臣。日本カドゥケウス理事を兼任する。

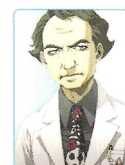
明神さやか SAYAKA MYOUJIN
日本カドゥケウス麻酔医で元警視庁鑑識。鉄の女と揶揄されるが仲間からの信頼は厚い。

佐倉東吾 TOUGO SAKURA
カドゥケウス勤務2年目の若き外科医。月森の大学時代の同期で、局内のムードメーカー。

新垣修也 SYUUYA ARAGAKI
カドゥケウスの頭脳。25歳の若さで病理研究室長を務める。少々神経質で、自分中心的。

伊東優乃 YUNO ITOU
カドゥケウス勤務の看護師。6年目でベテラン格の26歳。多くのギルス患者を担当している。

宝生卓而 TAKUJI HOUSHO
カドゥケウスのベテラン外科医。42歳。包容力と穏やかな性格は患者の救いとなっている。

ルイス・ウィラー LEWIS WHEELER
合衆国カドゥケウスの医局長。51歳。多発する医療テロの現状を国際学会にて発表した。

オーウェン主幹 OWEN CHIEF EDITOR
合衆国カドゥケウスの研究主幹。再生医療の権威で、月森に研究への協力を要請する。